

若者の生きづらさと アディクション

～信頼障害からみた依存症・自傷行為・摂食障害～

「ダメだとわかっているけどやめられない」「でも、つらい気持ちをおさえたい」「人には頼れない」「こんな自分はやっぱりダメだ」・・・

若者の中には、様々な生きづらさへの対処をしている中で、アディクション^(*)に至ってしまうことがあります。長期的には悪影響が大きい行動を、どうして選んでしまうのでしょうか。

その説明の1つとして、人を信じられずに物や行動に頼ってしまうためにアディクション行動を選ぶという「信頼障害仮説」という考え方があります。

信頼障害という視点から、若者の生きづらさとアディクションについて理解を深め、どのような関わりや支援をしていくとよいか、一緒に考えてみませんか。

*アディクションとは？

意思や性格の問題とは別に、やめたくてもやめられない、依存症的行動の総称です。「嗜癖^{しへき}」とも訳されます。依存対象には、薬物やアルコール、ニコチン、カフェイン等の物質使用、ギャンブルやインターネット、摂食障害、自傷行為、買い物等の行動が含まれます。

平成
30年 1月24日 水

14:00～16:00 (開場 13:30)

京都市北文化会館
ホール

(京都市北区小山北上総町49番地の2
＜キタオオジタウン内＞)

内 容 ■ 講演「若者の生きづらさとアディクション
～信頼障害からみた依存症・自傷行為・摂食障害～」

講師 神奈川県立精神医療センター
専門医療部長 小林 桜児 氏

■ 当事者の体験発表

問 合 せ 京都市こころの健康増進センター 相談援助課
TEL 075-314-0355

参加
無料

定員 270名
先着順, 申込不要

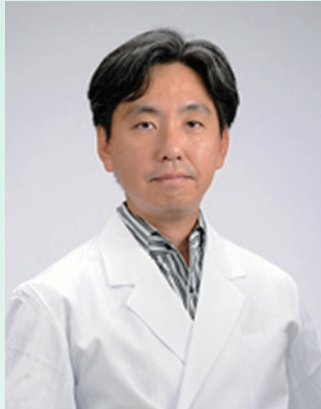


京都市こころの健康増進センター開設20周年



若者の生きづらさとアディクション ～信頼障害からみた依存症・自傷行為・摂食障害～

講師プロフィール



こばやし おうじ
小林 桜児 氏

平成12年信州大学医学部卒。平成16年から神奈川県立せりがや病院に勤務し、依存症臨床業務のかたわら覚せい剤依存症患者に対する外来グループ療法 (SMARPP) の開発に従事。神奈川県立芹香病院、国立精神・神経医療研究センター病院精神科を経て、平成25年4月より神奈川県立精神医療センター依存症診療科勤務。平成28年4月より専門医療部長。横浜市立大学医学部精神医学教室非常勤講師。

訳書

- 『アルコール・薬物依存臨床ガイドーエビデンスにもとづく理論と治療』
共訳 金剛出版, 2010年

著書

- 『精神科臨床エキスパート 依存と嗜癖—どう理解し、どう対処するか』
共著 医学書院 2013年
- 『人を信じられない病—信頼障害としての依存症』 日本評論社 2016
ほか多数。

会場地図及びアクセス

- 京都市営地下鉄烏丸線
北大路駅下車(出入口1番)
 - 京都市バス 北大路バスターミナル下車
 - 京都バス 北大路駅前下車
- *会場へは市バス、地下鉄等の公共交通機関をご利用下さい



京都市印刷物第 294795 号 平成29年12月発行
発行元：京都市こころの健康増進センター 相談援助課



この印刷物が不要になれば「雑がみ」として古紙回収等へ!



われらは京都市ゲートキーパーズ!! 大切な人の命を守る! それがゲートキーパー

Facebook
はじめました



<https://www.facebook.com/kokorohothot>

内容

- 精神保健福祉に関する講演や研修のお知らせ
- 相談会や相談電話等の案内
- 京都で見つけた **ホット**とするもの
など。

皆さんの投稿をお待ちしています!



「ゲートキーパー」って? ↓

京都市 ゲートキーパーズ 検索